

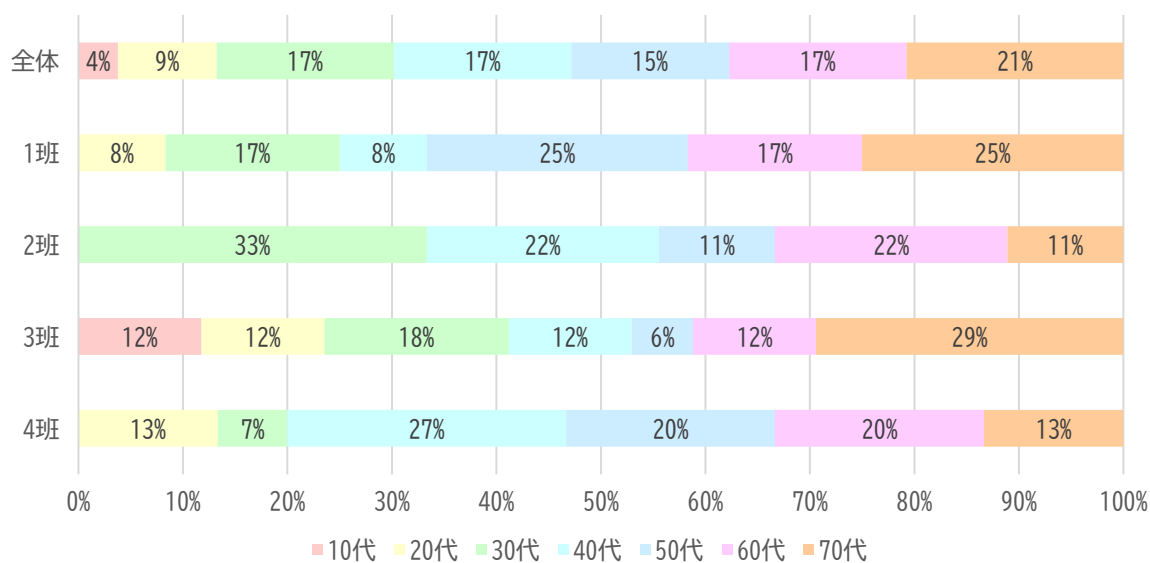
第4回自分ごと化会議 参加者アンケート回答結果

- 1 調査対象 第4回自分ごと化会議 参加者 56名
 2 調査時期 1班～3班：令和3年7月25日（日）
 4班：令和3年8月7日（土）
 3 回答結果 53件（回答率 95%）

	参加者	回答数	回答率
全体	56	53	95%
1班	12	12	100%
2班	10	9	90%
3班	17	17	100%
4班	17	15	88%

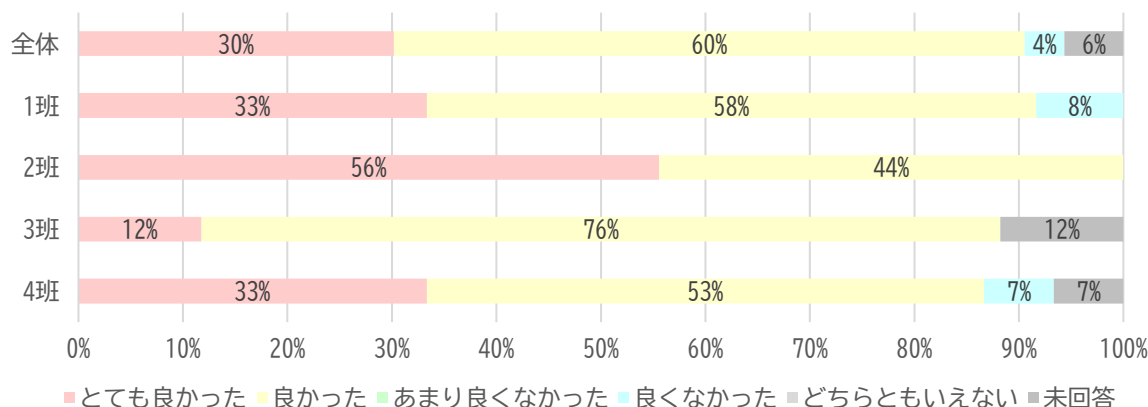
4 回答者の属性（年齢）

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10代	2	4%	0	0%	0	0%	2	12%	0	0%
20代	5	9%	1	8%	0	0%	2	12%	2	13%
30代	9	17%	2	17%	3	33%	3	18%	1	7%
40代	9	17%	1	8%	2	22%	2	12%	4	27%
50代	8	15%	3	25%	1	11%	1	6%	3	20%
60代	9	17%	2	17%	2	22%	2	12%	3	20%
70代	11	21%	3	25%	1	11%	5	29%	2	13%
未回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	53	100%	12	100%	9	100%	17	100%	15	100%



Q1 第2回自分ごと化会議に参加してみているかがでしたか。

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても良かった	16	30%	4	33%	5	56%	2	12%	5	33%
良かった	32	60%	7	58%	4	44%	13	76%	8	53%
あまり良くなかった	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
良くなかった	2	4%	1	8%	0	0%	0	0%	1	7%
どちらともいえない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未回答	3	6%	0	0%	0	0%	2	12%	1	7%
合計	53	100%	12	100%	9	100%	17	100%	15	100%



Q2 今日の自分ごと化会議の中で、新たな発見や気づきはありましたか。

1班
西山の整備の必要性を初めて知ることができた。
西山の課題は色々あるが、住民が関われる場が少ない。広報等で情報を積極的にとるようにしたい。
森林・竹林・水田で生活している方々の環境保全への関わり方が参考になると考える。
西山の自然環境の現状を知ることができてよかった。何か自分でもできることがないかと思った。
参加者の皆さんが、自分の街の事をもっと知りたがっていると思った。
西山の現状について、あまり知られていない。地域により危険な場所もある。
長岡京市のうち、約4割を占める西山森林の広さが約800haで、森林所有者は600人もおり、その大半（90%強）が個人であることを初めて知った。地権者を取りまとめ、問題を解決し、自然豊かな西山森林を再生することは大変なことだと思った。
西山森林整備推進協議会の存在を初めて知り、生活、環境、ブランド、観光など、様々な視点から議論できたことは、大変貴重な機会だった。
市の課題や解決のためにしていることなど、あまり知らなかったのだが、広報誌だけではなく、SNSでも発信されていることを初めて知った。

2班
自治会の必要性について、各人の置かれている立場や環境により、考え方は様々であり、時代に合わせながら検討していくことが必要と強く感じた。
自治会の必要性を説明することは行政にとって永遠の課題。メリット・デメリットの話になりがちだが、「自治会=安心感」という意見を聞いてその通りだと思った。行政から自治会にお願いしている諸々も徐々に整理していかないといけない気がする。
自治会の必要性は、自主防災と思っているが、市はなぜ必要と思うのか。
自治会の必要性・実働性について新しい認識を得られた。
地域コミュニティ、自治会加入率や活動の必要性が時代とともに変化していることを知って、何ができるか考えると難しいと思った。
市民（自治会）と話し合う（対話）の機会が必要。
要配慮者の個人情報の対応が分かった。
自治会・地域コミュニティ・消防団、色々な組織があって、それぞれ活動されているが、何かあった時の連絡（指揮系統）はどうなっているのか考えさせられた。

3班
進行役の方の発言の中にもあったが、中学生などの参加も目指したい。
若い人との交流ができるまちづくりはどうだろうか。
空き家を利用して若者の力を借りて、いつでもだれでも立ち寄れる居場所を地域で作り出す。
出席者の方は、それぞれ自らの意見を持っておられて、感心している。抽出方式で役割を担う人を選ぶのもよいのではないか。
若い世代の地域活動への参加、学校教育との連携。
若い世代のコミュニティ活動への参加を促す方法がかなり難しいこと。
地域コミュニティが何なのか、そもそも知らなかったなので、よくわかった。中高生に頑張ってもらうのは良い案だと思った。
様々な活動をしている方がいる。
長く発信者の立場でいると、受け手の目線や感じ方がわからなくなるが、改めてその姿に気づくことができた。
地域活動における壁が相当高いので、どう乗り越えるか。
災害時の炊き出しの仕方のアイデア、若い世代の方の参加を促す方法など。
参加者同士の意見が活発になってきていると感じ、会議が良くなっていることを感じた。

3班（続き）
コロナ禍での防災訓練など、課題が多いことが分かった。イベントには参加するが、担い手にはならない「お客さん」が多いのかなと思った。
世代や立場によって考えや意見が様々あり、気づきや発見がありました。
地域コミュニティ協議会について、ほぼ無知だったので、資料などわかりやすい具体的な情報がとても参考になりました。
実はハロウィンイベントを自治会で開催しようとしたことがある。この時、大反対したのは老人側だった。見ず知らずの子どもが玄関にやってきてお菓子を渡したところで、何をすればいいのかと猛反対を受けて企画はとん挫した。そのくせ人とのつながりがどうだの、話し相手がないだのと愚痴はこぼされる。つまり仲良しクラブを用意せよ、ということなのだと分かった時点で「新しいつながり」は無理だとあきらめた。また、「ほら市でこんなものが利用できるよ。こんな手続きでこれが借りられるよ」と言ってきた高齢者の方からは「だからほら、やっという」と丸投げされた。自分はやらないが、工事は用意しろ、というのがあけすけで「それだけ自分で調べてわざわざ言いに来るだけの元気があるなら自分で進めていけばいいだろう」と言い返したくなかったことがある。自分は意見を言う。動くのはお前らだ、というのでは、手弁当無報酬で熱心に取り組むもののやる気を削ぐだけだと思う。高齢者問題に限らず、自助共助といっても動く者は動くが動かない者はツバメの雛の如く口を開けて待っているだけであれば、結局一部の者に過度の負担を負わせるだけであろう。動く者に対して何かしらの見返りを用意すべきなのではないか、と考える。税の負担は公平に、でも地域の問題は一部の者だけで不公平に、ということが今の自治会の問題でもあり、自分ごと化を進めるにあたってあらためてこの点をどう条例に結び付けていくのか、関心はある。自分ごと化会議の本質がこの点を改善せんとするものであることを期待するところである。会議のメンバーの方々は「動く」方々でもあるので、「動かない」者をどう動かすのか、ヒントも結論も見えないが、会議を聞いていて感じたところである。

4班
おやこのいっぽの会やすぐらうとの方の話をして、自分の興味分野(福祉学部卒業)に沿っている分、実りのある時間となった。
コミュニティを充実させる。
グループで話し合う際、各々が全体で話した内容について、ご自身の中にある父親としての記憶、家族、姉妹としての記憶をたどり、話をされていた。この行動・行為そのものが「問題を自分事」として考えるという事だと思った。
市民団体の方が加わることで、知らなかった情報を知ることができた。
良いツールがたくさんあるのに知られていない。
様々な市民団体があることを知った。
色々な団体が活動されているが、活動内容の情報伝達が口コミ中心なので、受動的に情報を得られる人に対する情報伝達が重要。
相談できる場所があるのに、認知されていないことが真の問題である。
司会と発表があるが、司会を全体発表で紹介する意味が分からない。
長岡京市には、活動している民間団体がたくさんあること。
立場の違う人が集まり、具体的に対話することで、お互いの立場の思い込みと分かり合え

なさを知ることができた。

Q3 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください

1班
市民の協力の仕方を具体的にどのようなことができるのか知りたい。
西山の課題については、自治会加入率減少の課題、ごみステーションの課題、清掃活動の課題と比べて、自分にとっては、関わりがない課題であったので、イメージでの話になってしまった。
西山の環境保全に対し、西山を知ってもらう、西山で遊んでもらうなど、保全から離れているように思う。
有意義な話が聞けて良かった。
提案させて頂いた「自分の街をもっと知りたいプロジェクト会議」のようなことを組織化してはどうか。
市の情報や地域の情報など、参加者の皆さんはどのように入手しているのか（特に自治会に加入していない人）聞いてみたい。
私は研究者なのですが、まだまだ知らないことがたくさんあり、勉強させて頂いている。ZOOMだと気軽に参加できるので、続けて頂きたい。
コーディネーターが皆さんの話を簡潔にまとめてくださり、とても分かりやすかった。前回参加できなかったが、安心して参加できた。
会議が参加者主役で行われていない。進行役の誘導型となってしまっている。第5回では担当テーマを決めて、3~4人のチーム編成でワークショップを行う形にしたい。

2班
次回は提案書を具体化することを前提にした内容にしたい。
地域の問題や課題というだけならできるが、実行することがなかなかできないと、活動している人が言われていたのを聞いて、自分もそうだと思った。
長岡京市で具体的に起こりうる災害に対する備えと対応、防犯に関する対応（高齢者詐欺等）を考えさせられた。

3班
今のメンバーで意見を集約してはどうか。
ありがとうございます。次回もよろしくお願いいたします。
コロナ禍での防災はどうする予定なのか知りたい。
次回でうまく問題点をまとめ、解決策を見いだせるか。
今までの内容をどうまとめるのか、今日貰った資料を確認して考えたい。
グループにさらに小分けして話し合う機会があれば良いかもしれないと感じました。

ナビゲーターの方の進行がとてもありがたかったです。感謝しています。

4班
良い話し合いができてよかった。
様々な意見討議ができ非常によかった。
事前に資料があったので進めやすかった。前回欠席だったので、何が反映して何が反映されていないかわからない。議事録があれば良い。
会議の最後にホワイトボードにまとめた内容を議事録で頂ければよかった。資料を見て前回話した内容はどこにいったのか愕然とした。参加する意味はあるのかと思った。
回数を重ねていかないと難しい。もっとお互いの立場を知る時間が必要。認め合える関わり方のできるファシリテーターを各班に入れる。
もうちょっと意味のある会議にしてほしい。資料をしっかりと作ってほしい。コーディネーターは発表者のリポートいらない。

Q4 第5回自分ごと化会議について、参加・不参加のご都合をお聞かせください

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
参加	31	58%	9	75%	5	56%	10	59%	7	47%
不参加	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未定	17	32%	3	25%	3	33%	5	29%	6	40%
未回答	5	9%	0	0%	1	11%	2	12%	2	13%
合計	53	100%	12	100%	9	100%	17	100%	15	100%

